

9月5日にパラリンピックが閉会し、約1ヵ月にわたる東京大会が幕を閉じました。障がいを抱えながらも自身の記録に挑戦する選手の姿には本当に大きな勇気をもらいました(^ ^♪

自国開催のパラリンピックを経験した私たちは、閉会式のテーマでもあったように「違いが輝く」世界になるよう、一人ひとりが認め合い、支え合える社会の実現に向けて“自分には何ができるのか”ということを考え、行動していかなければなりませんね！！

今回は兵庫県ゆかりのパラリンピックメダル獲得選手紹介と、宝塚市立中山五月台小学校の取組を紹介いたします(\*^-^\*)。

## 兵庫県ゆかりのパラリンピック出場 メダル獲得選手



### 【陸上】

大矢 勇気 選手 銀メダル



### 【車いすテニス】

上地 結衣 選手



シングルス：銀メダル・ダブルス：銅メダル



### 【車いすラグビー】

倉橋 香衣 選手 銅メダル



東京2020大会に出場した兵庫県ゆかりの選手はオリンピック・パラリンピック合わせて、69名！！こんなに大勢のゆかりの選手が世界で活躍しているなんて本当に素晴らしいですね！！  
選手の皆様、沢山の勇気と感動をありがとうございました。



## ★9月10日(金)宝塚市立中山五月台小学校

ロンドンオリンピック女子バレーボール銅メダリストの竹下 佳江さんを講師としてお招きした講演会が、来年度に統合する宝塚市立中山桜台小学校と合同で実施されました。宝塚市教育委員会の方が進行をしてくださり、講演会前にはバレーボールクイズ！！オリンピックではバレーボールを観戦した人がほとんどで、バレーボールについての基礎知識はバッチリな様子♪

講演会では、これまでのバレーボールの活躍だけでなく、学校生活はどのように過ごされていたのかなど児童の皆さんの生活にも照らし合わせてお話をしてくださりました。「**できない理由ではなく出来る方法を考える**」「**“試合前”より“日々の練習”を大事にすること**」を大切にされていたとし、児童の皆さんには「**友達や周りの人を大切にしながらコミュニケーションをとって成長して行ってほしい**」とメッセージが送られました。

講演後は、実技指導でアンダーパスとオーバーパスの姿勢を教えていただき、代表生徒7名が竹下さんと実践。良いパスが出た時や繋がった時には他の児童の皆さんが声援の代わりに大きな応援の拍手を送っていた姿がとても印象的でした。そして、会場に展示していただいたロンドンオリンピックの日本代表選手団公式服装や銅メダル、聖火リレーで使用したトーチなど“オリンピック”実物の凄さに釘付けの児童の皆さんでした。

